

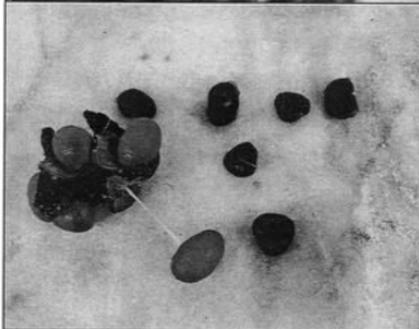
# 市川自然博物館

## 2-3月号 だより

（通巻90号）



### 自然博物館のめ



#### コブシ

左上：早春、葉に先駆けて花を咲かせる。  
左下：種子はガムのような物質で実につく。

右上：多数の雄しべ、雌しべが螺旋状に並ぶ。  
右下：市内の林で普通に見られる。

今年度の特集は、長田谷津総合調査の内容を紹介してゆきます。

第VI回は『長田谷津の特定種』についてです。

# 長田谷津 総合調査報告 VI 長田谷津の特定種

特定種とは、天然記念物に指定された貴重な種類や、絶滅の恐れがあるとされている種類のことです。長田谷津には、国全体において絶滅が心配されている種類や、千葉県範囲において絶滅が心配されている種類が多く生育・生息しています。今回は、それらの種類をリストアップしました。

## 【国の絶滅危惧種】

国全体で絶滅が心配されている種類としては、3種類の動物と6種類の植物が長田谷津に生育・生息しています。

### 絶滅危惧1類

イチョウウキゴケ（コケ植物）千葉県では最重要保護生物

### 絶滅危惧1B類

ホトケドジョウ（魚類）千葉県では要保護生物

マヤラン（種子植物）要保護生物

### 絶滅危惧2類

オオタカ（鳥類）千葉県では重要保護生物

スナヤツメ（魚類）重要保護生物

オオアカウキクサ（シダ植物）指定なし

ミズニラ（シダ植物）指定なし

エビネ（種子植物）一般保護生物

キンラン（種子植物）一般保護生物



△ 国の絶滅危惧種 スナヤツメ

## 【千葉県の絶滅危惧種】

千葉県の絶滅危惧種は長田谷津でも多く見られますが、特にニホンアカガエルの繁殖地として注目を浴びています。

### 最重要保護生物

ニホンアカガエル（両生類）

### 重要保護生物

フクロウ（鳥類）

ニホントカゲ（爬虫類）

ジムグリ（爬虫類）

アオカワモツク（藻類）\*

シロマダラ（爬虫類）

\*藻類は他と区分が異なり、重要・要・一般の区別がなく、

アオカワモツクは「保護生物」とされています。

### 要保護生物

カヤネズミ（哺乳類）

アズマヒキガエル（両生類）

コサギ（鳥類）

キンブナ（魚類）

オカヨシガモ（鳥類）

アカシジミ（昆虫類）

カワセミ（鳥類）

ミドリシジミ（昆虫類）

キセキレイ（鳥類）

ウスミモンキリガ（昆虫類）

エナガ（鳥類）

マルタンヤンマ（昆虫類）

ヤマガラ（鳥類）

ヌカエビ（甲殻類）

メジロ（鳥類）

サワガニ（甲殻類）

ホオジロ（鳥類）

ミクリ（種子植物）

カケス（鳥類）

ササバギンラン（種子植物）

クサガメ（爬虫類）

ギンラン（種子植物）

シマヘビ（爬虫類）

オオマルバノホロシ（種子植物）

## 【千葉県の絶滅危惧種のうち、定住性の低い鳥類】

渡り鳥のように広範囲を移動して暮らす鳥類や、出現頻度の低い鳥類については、他の生物と分けてまとめました。

### 最重要保護生物

サンコウチョウ クイナ

### 重要保護生物

サシバ

オオルリ

キビタキ

オシドリ

ヨシガモ

イソシギ

### 要保護生物

センダイムシクイ

ノスリ

アオゲラ

アカゲラ

ミソサザイ

カイツブリ

## 【国の準絶滅危惧種、千葉県的一般保護生物】

絶滅危惧種に準ずる種類は、数多く見られます。むしろ、谷津の生態系それ自体が絶滅に瀕していると言えるかもしれません。

### 国の準絶滅危惧種

マルタニシ（貝類） 千葉県では一般保護生物

モノアラガイ（貝類）千葉県では一般保護生物

カワヂシャ（種子植物）

### 千葉県の一般保護生物

ジネズミ（哺乳類）

ヒバリ（鳥類）

ツバメ（鳥類）

セグロセキレイ（鳥類）

トラツグミ（鳥類）

ウグイス（鳥類）

オオヨシキリ（鳥類）

クロジ（鳥類）

ニホンカナヘビ（爬虫類）

ニホンヤモリ（爬虫類）

アオダイショウ（爬虫類）

ヒバカリ（爬虫類）

ヤマカガシ（爬虫類）

シュレーゲルアオガエル（両生類）

モツゴ（魚類）

アサギマダラ（昆虫類）

キイトトンボ（昆虫類）

サラサヤンマ（昆虫類）

クロスジギンヤンマ（昆虫類）

コノシメトンボ（昆虫類）

ヤブヤンマ（昆虫類）

モミ（種子植物）

ヤマハンノキ（種子植物）

ハシバミ（種子植物）

クマシデ（種子植物）

コブシ（種子植物）

イヌショウマ（種子植物）

イヌザクラ（種子植物）

アオハダ（種子植物）

ジュウニヒトエ（種子植物）



△ 千葉県の最重要保護生物 ニホンアマガエル



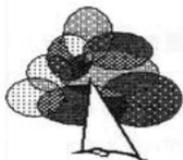
# 街かど自然探訪

おじゃまします!

## おしきり 押切・稲荷神社のイチヨウ

行徳駅前から市川浦安バイパス道路を渡ると押切の町です。旧江戸川とバイパス道路の間にある町並みには、まだ細い路地が多く残っており、迷路のようにあちこちにつながっています。また、古いお寺や神社・碑なども残っているので散策を楽しむことができます。

押切の稲荷神社には、樹齢300年以上と言われているイチヨウがあります。幹周り6.1m、樹高16mの巨木で、毎年秋にはたくさんの銀杏の実をつけます。



くすのきのあるバス通りから No.36

## 弱虫君といじめっこ君

去年の夏は、庭にヘチマの苗を2本植えました。1本には4本のヘチマがなりましたが、もう1本にはなりませんでした。その代わりヘチマ水が2日で3リットルも取れました。そのヘチマ棚を解体し、庭を耕しました。

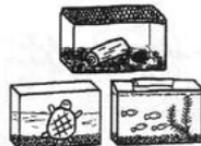
みかんの輪切りを置いておいたら、ヒヨドリとメジロが来ました。ヒヨドリは2羽で来ていて、砂浴びもしました。上下関係があるらしく、一方が攻撃すると「羽を怪我してます。やめてください。」

という素振りをします。その2羽は時々きていつも同じ事をするので、「弱虫君といじめっこ君」と我が家では呼び名をつけました。

セキレイも来ましたが何もしないで飛んでいきました。そういえば「ポケモンセンタートウキョー」に子どもと一緒にいった時、セキレイがトコトコ歩いていました。「お堀や公園、東京湾、神田川があるし、東京駅の八重洲口の界隈にいてもおかしくないかな。」と思いました。

(水垣麻理子さん)

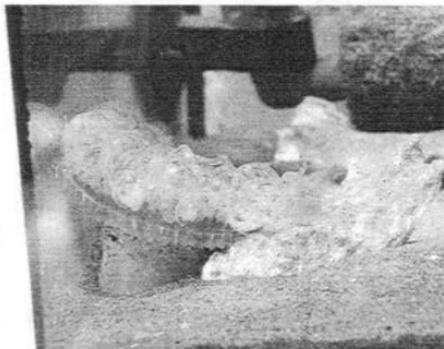
博物館で  
こないきもの飼ってます！



## イソギンチャク

砂底にもぐるタイプのイソギンチャクは、花が咲いたようです。たくさん採ってきて、ほとんどがすぐに死んでしまいますが、一度その場に安定すると、あまり手間もかからず長期間飼えます。

気を使うのは、餌をやる順番ぐらいです。イソギンチャクに一番に餌をやると、同居しているカニなどに横取りされるので、いつも最後です。最近では、触手が開いた中に餌を入れてやると、サッと閉じて抱えこむようになってきました。



〇〇

### こंनाふうに飼っています

〇〇

※ ※ ※ レイアウト ※ ※ ※

- ・ 水 … 海水です。濃度が濃くならないように、時々汲み置きした水を足します。それほど厳密には濃度を測っていません。  
餌の食べ残しなどが無ければそれほど汚れないので、水替えは適当です。水が濁ったり、臭くなった時は様子を見ながら変えます
- ・ 砂 地 … 干潟の細かい砂です。砂にもぐって見えない部分が結構大きいので厚めに約8cm入っていますが、水槽の半分ぐらいまで入れたいです。貝殻などを埋めておくと、それに固定するようです。
- ・ その他 … エアーと兼用のスポンジフィルターを入れてあります。

※ ※ ※ 餌 ※ ※ ※

- ・ 種類や大きさによって多少違いますが、現在飼っているものには冷凍のワカサギを解凍したものです。内臓は取りますが、骨はついたままです。いっぺんに飲み込めるぐらい、上から見て直径の3分の1ぐらいの塊を目安にしています。週に1~3回、時々忘れるぐらいでも平気なようです。

※ ※ ※ その他 ※ ※ ※

- ・ 一度もぐった砂底から体全体が出て縮んで丸くなっていたら、要注意です。弱ってきていて、餌も受け取らなくなります。死んだらすぐに取り除きます。

わたしの  
**観察** ノート  
No. 72

◆大町公園より

- ・ガマの穂がはじけて、綿毛の種がふわふわ舞っていました(11/14)。
- ・深夜から積もった雪の上に、ノウサギの足跡を見つけました(12/27)。場所はバラ園ともみじ山でした。

金子謙一(自然博物館)

- ・ウソを見ました(11/28)。ハリギリの周りをうろうろしていました。

宮橋美弥子(自然博物館)

- ・オカヨシガモを見ました(11/18)。
- ・ルリビタキを見ました(12/18)。バラ園付近で4、5日前から鳴声を聞いていましたが、やっと姿が見れました。

土居幸雄さん(大町在住)

- ・オオイヌノフグリが咲いていました(12/23)。この時期咲いていたのは、暖冬のせいでしょうか？

植田 稔さん(東菅野在住)

◆柏井雑木林周辺より

- ・オオタカを見ました(11/16)。カラスが何匹も飛び交うなかを、オオタカが1羽飛んでいました。

金子謙一

- ・トビナナフシを見ました(11/22)。管理棟前のメタセコイヤやイロハモミジの紅葉も、とてもきれいでした。

藪 忠さん(本北方在住)

◆大柏川周辺より

- ・ユリカモメを見ました(11/15)。大野中央病院周辺の電線に30羽位とまっていた。

小川 晃(自然博物館)

- ・ミドリガメを見ました(12/23)。倉澤橋下の中州で、4匹が気持ちよさそうに甲羅干しをしていました。

吉田 毅さん(柏井町在住)

◆大野町4丁目周辺より

- ・モズのはやにえを見ました(11/30)。有刺鉄線に11ヶ刺さっていました。

介川武夫さん(曾谷在住)

◆曾谷周辺より

- ・市川第三中学校正門前のサクラ並木でセミが鳴いていました(11/4)。

市川第三中学校3年男子より

◆堀之内貝塚周辺より

- ・アオバト♀を確認しました(11/1)。飛び立つ時にもう1羽見られたので、2羽いたと思われます。

◆江戸川河川敷周辺より

- ・ミサゴ(3年ぶりの観察)が上流から、オオハクチョウ(5年ぶりの観察)が下流から、飛んできました。(11/15)。

以上 根本貴久さん(菅野在住)

11月末から12月は全般的に雨が多く、12月27日には初雪が降りました。



# 行事案内



市川市の自然財産  
企画展「長田谷津(大町自然観察園)」  
平成16年12月26日(日)まで開催  
特集でご紹介している内容をまとめて、展示で紹介します。

## 観察会 お申し込みが必要な行事です。

〇じっくり観察会… 大人向け。親子でもご参加ください。 定員：先着20名

テーマ	日時	場所	受付開始日
じっくり観察会 トンボを標本で学ぶ	3月14日(日)午前	自然博物館	2月21日～
じっくり観察会 長田谷津に学ぶ(春)	4月18日(日)午前	長田谷津	3月27日～

## お申し込み方法

往復はがきに、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、参加したい行事名を明記の上、自然博物館までお申し込みください。

## 季節を感じる 散歩会 お申し込みの必要はありません(雨天中止)。

\*集合場所など、詳しくは博物館に直接おたずねください。

テーマ	日時	場所
真間川散歩	3月21日(日) 午前10時～11時30分	真間川周辺
野に万葉の花を訪ねる(春)	4月11日(日) 午前10時～11時30分	里見公園周辺

## 長田谷津ボランティア

### 湿地の環境整備をお手伝いしていただきませんか。(雨天中止)

- ・日時 3月28日①、4月25日① 午前10時～12時
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・はじめて参加される方は…湿地の中に入る作業もありますので、作業内容や身支度などについて、ご面倒でも、まずは博物館にお電話でお問い合わせください。
- ・自家用車をご利用の場合も、お問い合わせください。

### 野草名札付けのお手伝いをしていただきませんか。(雨天中止)

- ・日時 3月7日①、4月4日① 午前10時～12時
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・自家用車をご利用の場合は、博物館までお電話でお問い合わせください。

市立市川自然博物館だより  
第15巻 第6号 (通巻第90号)  
発行日/平成16年2月1日  
編集・発行/市立市川自然博物館  
〒272-0801 千葉県市川市大町284番地  
☎047(339)0477  
<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/nature/>



これからの行事(平成16年度行事予定)の詳しい内容については4月以降にお問い合わせください。